

安心して住みよい町に！

議会だより

からうら

No. **67**

2014. 1. 30発行

初の試み“自由討議”	2 ▶ 3
広がれ学童保育	4
新年度事業問う(一般質問)	5 ▶ 13
児童を守る「見守り隊」	14

勝浦中学校にエアコン 設計委託料など

一般会計補正予算

6906万円可決

みかん
会議

快適な授業環境を

補正予算の主なもの

一般会計

- * 勝浦中学校エアコン設置設計委託料 … 276万円
- * 健康管理システム委託料 … 527万円
- * 林業振興費（林道専用道整備費など） … 5060万円

国保特別会計

- * 高額療養費 … 750万円

簡易水道特別会計

- * 川北簡易水道工事請負費 … 3000万円

初の試み“自由討議”

みかん会議（12月会議）は、3日と17、19日に開き、補正予算や条例改正など審議し、原案通り可決した。

この会議から議員間の自由討議を実施し議案審議の充実を図った。一般質問は9人が来年度の事業の取り組みなどについて問いました。

年頭あいさつ

町の元気を

議長 大西 一司



輝かしい新春を迎えおよろこび申し上げます。昨年、中・四国で初めての通年会期制を導入し、補正予算に素早く対応して、事業執行が早くなるなどの効果が出ております。また、全国各地から行政視察も多くあり、勝浦町を全国にアピールしています。今後も改革を進め、議員のスキルアップを図り、執行部に提案、提言を行い、町の活性化につなげて行きます。本年もよろしくお願い致します。

勝浦町議会

自由討議って何？

自由討議とは「議会は議論の場である」という原則に立ち、議案に対し、議員各人が意見を述べ、問題点を整理して審議内容を深めるものです。

勝浦町議会では、先進的に「みかん会議」から取り組みました。主な内容は次の通りです。

第1号議案

地域の元気臨時交付金基金条例

国清議員

この交付金は、地域経済の活性化や雇用創出を図るのが目的だが、今までは車両などの備品購入ばかりである。

残りの分は本来の目的にあったものにすべきだ。

大西議長

議員からも有効な事業を提言する必要があるのでは。

第8号議案

一般会計補正予算

節議員

婆羅尾はらおとがり石線の林道整備に4100万円が計上されているが、進入口付近で崩落があり改修を行っている。

この事業は全額国費という説明であったが、工事費が増えた場合

町費が必要なのか確認すべき。

森本議員

今後の工事は新しく斜面を削って行かなければならない。排水対策が必要となり、予算面での問題が心配される。

美馬議員

勝浦中学校のエアコン設置設計委託料276万円は、新築時にすでに含まれているとの説明があったのに高すぎるのでは。

川端議員

議会は当初から設置すべきと提言してきた。最初から付けていればこの経費は必要なかった。専門的なチェック機関が必要だったのではなにか。



とがり石線の崩落現場

第10号議案

簡易水道補正予算

節議員

26年度、27年度の継続費が増えている。要因は人件費の高騰という説明であったが、契約済の工事費が上がるのは問題である。内容を精査すべきだ。

11月 会議

6日に開会し、災害復旧費などの補正予算 約2200万円を可決、災害備蓄倉庫（10カ所）購入契約を承認した。

補正予算の主なもの

- * 災害復旧費（石原地区ため池ろう水対策費）…………… 1000万円
- * "（町道、河川の補修費）…………… 800万円
- * 地域支えあい事業（集会所エアコン設置など）…………… 274万円



エアコン設置で快適に（棚野集会所）



ろう水対策が必要なため池（石原）

広がれ
育て
学童保育

一層の充実を

学童保育とは、友働き家庭などの小学生が放課後を過ごす場です。

指導員の「先生」が一人ひとりの様子をみながら、各学年の子どもたちがいっしょに遊んだり宿題をし、有意義に過ごしています。

生比奈小学校校区には「ちやいるどクラブ」、横瀬小学校区には「たけのこクラブ」があり、それぞれの校舎の教室で、様々な行事を行っています。

ニーズも高まっており、今後もより一層の充実が求められています。



ちやいるどクラブ



たけのこクラブ

視察をどう活かすか！

25年10月16日～18日

これからの交通弱者対策「ICTを活用したデマンドバス」

視察先：三重県玉城町

- ・大学と共同でシステムを開発、運用面の改善を行っている。
- ・交通弱者のみならず、だれでも登録すれば利用できる。
- ・年間運営費は2000万円だが、利用料金は無料。

勝浦町は、タクシー券の補助事業を実施しているが、利用者の限定や利用可能な場所、料金負担など大きな課題がある。



バス運行の指令室

町民に開かれた議会をめざして「ケーブルテレビを活用した議会放映」

視察先：京都府笠置町

- ・電波難聴地域であったので、平成6年にケーブルテレビ化し、同時に議会中継や各種行政情報、防災情報、学校行事、イベントなど配信している。
- ・自主放送の運営費は年間160万円。
- ・自主放送チャンネルがあり、ワンタッチで見える。
- ・視聴率が高く、質問内容や行政課題について、問い合わせが多い。

人口減少抑制対策「空き家利用による地域再生」

視察先：兵庫県篠山市 一般社団法人「ノオト」

- ・持ち主から「ノオト」が10年間借り受け、その家賃収入で改修する。
- ・持ち主のメリットは、維持管理が不要で10年後には改修された家が戻ってくる。
- ・改修は、現状を最大限活用し、ボランティア助成で安く仕上げています。
- ・負の遺産と思われがちな空き家を再生することで、コミュニティを通して地域を活性化している。

勝浦町には「空き家」が約170軒あり、その有効活用が大きな課題になっている。



空き家をレストランに改修

県道新浜勝浦線

陳情、要望相次ぐ

27年度早期に着工（町長）

国清一 治議員



問 県道新浜勝浦線は、小・中学校の通学路であり、重要な生活道路でもあるが、星谷工区は20年以上も改良・拡幅されないまま放置され、狭あいで見通しの悪い箇所が交通事故が多発している。この危険な道に対し、「生比奈小学校PTA今山、黒岩、星谷支部」から、昨年の5月に保護者全員の署名をもって町長に、「子ども

の安全確保」の陳情書が提出された。町は6月に県へ要望書を提出し、通学する児童・生徒の交通安全施設の工事が始まった。

しかし、地元が当初から要望し続けてきたのは、安全確保のための道路拡幅であることから、11月に用地関係者の同意を得、星谷区長を代表に全戸・区民335人の署名をもって町長に陳情書を提出した。

それを受け、12月に町長は地元代表者と共に県に要望書を提出した。地元としてやるべきことは全てやった。後は町長の政治力である。早期着工に向けての決意を。

答 中田町長
地元、星谷の県道改良・

勝浦みかんの将来ビジョンは

シンポジウムを開催（町長）



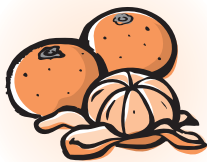
危ないなあ 狭い通学路（星谷）

拡幅に対する熱い思いを強く受けとめており、27年度の早い時期に着工したい。

問 勝浦みかんは急激に衰退しているが、町長の将来ビジョンは。

答 中田町長
一番の課題は担い手

対策であり、今年度に3名の青年農業者が就農する。また、2月7日に「みかん産地の活性化シンポジウム」を開催し、みかんの品評会を実施するなど、ブランド化を広げたい。



介護認定1、3級も「障害者控除対象」に

今年の税申告から適用（町長）

問 税の申告で特別障害者控除があるが、所得税法等の改正で、町長が認定することができると項目が追加された。

勝浦町では19年度から介護認定4・5級が対象であるが、1級から3級まで拡大することはできないか。

答 中田町長
要綱などを整備して、今年の税申告（25年度分の所得確定申告）から適用したい。

その他の質問

- 防災・減災対策の課題
- 交通弱者対策
- 公設掲示場の活用

町民体育祭の復活を

前へ進めたい（町長）

河野道雄 議員



問 体力づくりの一環として、昔の自転車リングころがしやケンケンパーなどの遊びを子どもたちに教えてはどうか。

答 北島教育長
昔の遊びも取り入れてみたい。

問 学校の統廃合でスクールバス通学が増え、子供の体力低下が懸念される。全国体力検査が実施されているが、本町の結果はどうか。

答 北島教育長
小学校は男女ともに全国、県平均より上位。中学校は、女子は全国、県平均より上位。男子は全国、県平均よりやや低い結果となっている。

問 町民体育祭は、幼児からお年寄りまで全ての町民が一同に集い、体力の向上や親睦が図れる楽しい場である。ぜひ復活を。

答 中田町長
19年度の国文際の関係で中止になり、20年度からKフレンズが「スポーツフェスティバル」を開催している。町民の声を聞きながら、新たな気持ちで前へ進めたい。

町立病院の 医師確保を

問 町立病院は医師不足の状況にある。医師確保にどのような取り組みで行くのか。

答 中田町長
現状では、医師確保は非常に難しい。引き続き努力して行く。

答 小林副町長
県の奨学金制度は、卒業後、県内医療施設で9年間



みんなで楽しんで町民体育祭

勤務すれば奨学金は全て免除される。
医師養成に期待しながら、医師確保に努めて行く。

中国の汚染物質

PM2.5の 状況はどうか

問 中国の有害物質を含んだ大気は、日本でも九州各県に度々注意喚起されているが、徳島県の状況はどうか。

答 岩佐住民課長
12月6日に脇町で77マイクログラムまで上がったことがあったが、平均的に10〜34マイクログラム程度である。



山野忠男議員



交通弱者対策

デマンドバスの運行を

経費面などに検討が必要

(副町長)



誰でも利用できるデマンドバス（三重県玉城町）

問 勝浦町の住民基本台帳ベースでは、25年12月で75歳以上の高齢者数は1246人になっていて、これに伴って、独居老人や交通弱者も増えて来ることは確実である。

対策としてのデマンドバスを運行する場合、どのような補助金があるのか。

答 小林副町長
総務省の「過疎集落の自治再生対策事業」の中に、デマンド交通システムの整備として上限1000万の補助金制度がある。県には「地域支え合い対策事業」として上限490万の補助金制度がある。

問 東京大学の運行システム

ム「コンビニクル」の経費は。

答 小林副町長

システム自体は安いですが、高額な運営費が必要になる。

10月に美馬市で実施しているデマンドバスの視察を行ったところ、24年度の経費は車4台で約2700万円、勝浦町で運行する場合は検討が必要。

問 今後、交通弱者についてどう対応するのか。

答 中田町長

現在、要支援1・2の方にタクシー券を利用してもらっているが、11月からスタートした「地域安全サポート事業」で買い物代行などを利用してもらいたい。

め10月から果樹園と選果、こん包施設の調査を進めているが、勝浦町も輸出戦略に踏み切ってはどうか。

答 小林副町長

EUの検疫手続きとしては、園地、選果、こん包施設の登録を行い、その後植物の防疫所の定期的な検査が必要である。

26年度より、申請をクリアした園地から試験的に輸出を行う予定となっている。

問 県は検疫通過のため農薬の使用マニュアルを作るというが、町はどうするのか。

答 野上産業交流課長

EUでは、農薬の使用方法が異なるので、2014年3月までに農薬、栽培方法を確立する必要がある。

問 今後の輸出計画は。

答 中田町長

みかんは勝浦町の基幹作物であるので、今後、輸出について検討したい。

みかんの輸出 戦略について

問 24年度産のみかんは、品質不良と価格の低迷で生産農家は意欲を失っている。県ではEU向け輸出のた

道の駅

キャンピングカーサイトの拡大を

増設は考えていない（町長）

麻植 秀樹 議員



問 四国初、全国で4番目に「道の駅ひなの里」にキャンピングカーサイトが整備された。今までにどれだけの利用があったのか。

答 野上産業交流課長
23年度は0回、24年度は3回、25年度は7回の利用があった。

問 利用者からの要望は。



大型車が入れないキャンピングカーサイト

答 野上産業交流課長
普通車タイプが2台まで利用できるが、大型のキャンピングカーは進入できない。
有料ゴミ処理サービスの要望があった。

問 もっと利用が進むようにPRの方法を考えては。

答 野上産業交流課長
道の駅のホームページに掲載し周知している。

キャンピングカーサイト情報を発信する「日本RV協会」で認証を受けている。この協会の雑誌やホームページにも掲載されているので利用してもらいたい。
キャンピングカーを利用した四国巡礼も、これから増えてくるのではないかと期待している。

問 今後、施設の増設は。

答 中田町長
現状では考えていない。



急速充電器

電気自動車

急速充電器の整備を

問 震災後、EV車（電気自動車）が、災害時の非常電源にもなることから、急激に普及してきた。防災対策のための公用車として導入しては。

答 伊丹企画総務課長
現状では、価格面、充電施設の普及状況、走行距離などまだ問題がある。

問 道の駅に「急速充電施設」を設置しては。

答 野上産業交流課長

設置条件があり、年間40万円の基本料金が必要になる。まだ多くの保有もないので、今後の普及状況を見て行く。

問 防災対策も兼ね備える、充電施設のインフラ整備を進める考えは。

答 中田町長

国の推進状況や、県内の電気自動車の保有状況や安全性などを考えて行きたい。

森本 守議員



林業奨励作物の 見通しは

薬草は集荷量の確保が必要 (産業交流課長)

問 町が奨励した薬草のオーレンやクヌギなど、その後の推進状況や指導はどうなっているのか。

答 野上産業交流課長

薬草については、森林で栽培する場合、出荷するまで十数年必要と聞いている。その間、生産者の手入れも十分行き届かなく、町も継続して栽培指導もできなかった。

クヌギについては当時、しいたけ栽培が盛んになり、原木が不足する情報があったが、その後、中国から安価な原木が輸入されたり、菌床しいたけが増え需要が減ってしまった。

問 植栽に当り多くの労働と費用をかけているが、販売の見通しはあるのか。

答 野上産業交流課長

薬草についてはまとまった出荷量ができれば製薬会社と交渉する。

また、クヌギについては町内にも原木しいたけを栽培している農家もあり販売

できる。

在来薬草の 活用について

問 「よつてネ市」や「道の駅」での販売はできるのか。

答 野上産業交流課長

薬膳料理については、薬

答 野上産業交流課長
県の指導により販売できない。

問 「ふれあいの里さかもと」で薬膳料理はできないか。



オーレンの葉



町が奨励したオーレンの花



育ちすぎたクヌギ

鳥獣害対策について

問 鳥獣の捕獲協力者には、減税か免税をすべきでは。

答 中田町長

狩猟税は、県税なので県に要望して行くなど、何らかの軽減対策をして行きたい。

狩猟更新経費については、猟友会などと十分協議して行きたい。

問 定年退職者や農業者に猟銃保持を進めてはどうか。また、「鳥獣害対策実施隊」の設置や、臭いによる防止対策の研究をしてはどうか。

答 中田町長

猟友会などと協議して、有効活用できる対策があれば、補助、助成も考えたい。

草等に十分な知識がないことから考えていない。

町の健康問題は

糖尿病などの重症化予防

(福祉課長)

美馬友子議員



問 25年度の特定健診受診率は。

答 前田税務課長

11月末現在で38・2%。

問 目標は27年度に65%となっているが、達成できるのか。

答 前田税務課長

対策として、個人への受診通知や26年度には土曜日

も健診日を設ける予定。

問 特定健診で分かった健康問題は何か。

答 大西福祉課長

糖尿病と慢性腎臓病の重症化予防である。

問 愛育班での健診の連絡は、会員以外にも多く、役員の負担になっていないか。

答 前田税務課長

23年度から巡回がん検診と特定健

診を一緒に実施することになった。役員には申込書の配布の協力に感謝している。

問 子供の肥満の現状は。

答 北島教育長

小・中学校とも肥満度は高い。

食に関する指導と運動不足を解消するため、スポーツタイムを設けている。

問 正しいラジオ体操で疾病予防や重症化予防ができる。町民の健康づくりのためにも、継続して運動することができ環境づくりは、行政の役割ではないか。

答 大西福祉課長

様々な機会を通して健康づくりを実施しているので、ラジオ体操に限定して運動を増やす事業の予定はない。

問 もうすぐ町制60周年を迎える。ラジオ体操の夏季巡回を招致し、健康への意識を高めてはどうか。

答 中田町長

ラジオ体操の良さを見直して、効果を期待できるような機会を作りたい。

問 勝浦町における審議会や委員会、協議会での女性の割合は。

答 伊丹企画総務課長

54の会議があり、定数合計は696人で、その内、女性委員は189人(27・2%)である。

問 今後の女性参画の取り組みや方針は。

答 野上産業交流課長

農業委員については、国から女性委員を登用するよう要請が来ている。地区からも推薦してもらいたい。

答 中田町長

女性の委員がない会議もあり、政策や方針を決定する場へ、女性の参画を積極的に進めて行く考えである。



健康づくりのためにもラジオ体操を！

井出美智子議員



国民健康保険税

納められる制度に

町民の実態をよく調査する（町長）

問 派遣などの非正規雇用が増える中で、「国保世帯の貧困化」が深刻になっている。

税の引き上げ後の決算と納めきれない世帯数及び国保世帯の平均年収はいくらか。

答 前田税務課長

24年度決算は、1477万円の黒字であったが、58世帯が滞納。平均年収は、105万4千円。

問 18年度に7年間かけて繰越金と基金から1億円を加入者に返すことを決めたが、1年しか実施しなかったのはなぜか。

答 中田町長

高額療養費が増え、保険税の引き下げが困難と判断したためである。

問 他の市町村と比較しても財政は優良である。年金の引き下げや消費税の値上げで、ますます厳しくなる国保加入者の生活を応援し、これ以上、滞納者を出さないのか。

いたためにも、税の引き下げと、申請減免制度の具体的な基準を設けるべきではないか。

答 中田町長

町民の実態をよく調査する。

生活困窮者への前渡金の支給を

問 社協の小口融資制度は、連帯保証人が必要となっており、緊急の場合に間に合わない。

困難な生活を余儀なくされている人への援助のため、生活保護法に基づいた前渡金を支給できないか。

答 大西福祉課長

生活保護は、県の事業として、中央福祉事務所が行っており、勝浦町は前渡金制度を実施していない。

問 他の市町村で前渡金制度を実施しているところはないのか。

答 大西福祉課長
徳島市と藍住町が独自に実施している。

問 中央福祉事務所でも実施できるように強く要望すると同時に、藍住町にならって

勝浦町でも援助を手厚くするべきではないか。

答 中田町長

どういう方法なのか調査し、県に要望する。

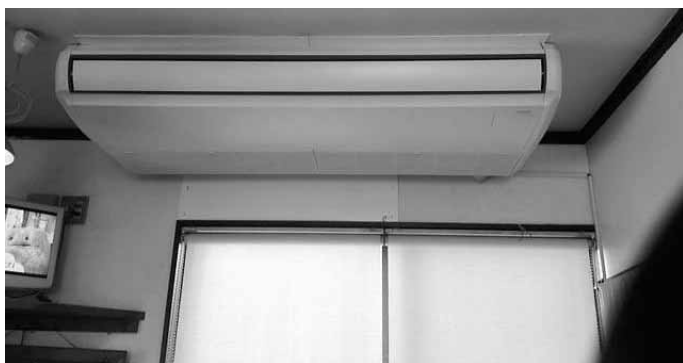
商店版リフォーム

助成事業の取り組みを

問 群馬県高崎市では商業の活性化を目的に商売を営んでいる人、これから営業を開始しようとしている人を対象に、リニューアル事業を行っている。町も実施してはどうか。

答 伊丹企画総務課長

起業を応援するため「杉の子基金」があるが、法人格を取得しなければならぬため、まだ、適用事例はない。利用しやすい制度にしたい。



助成事業でリニューアルした商店

庁舎の耐震化は

27年度までに補強する（町長）

部 公一議員



問 役場庁舎と福祉センターの耐震診断の最終値が決定したが、どのように対応するのか。

答 中田町長

両施設とも、補強工事に対応できると判断している。

問 今後の計画はどのようなか。

病院にとっては、薬剤師の減員や薬の在庫が減少できるなどがある。

答 メリットとして、患者さんは支払いが二度手間となることや、病院としては薬価差益が少なくなる。

問 移行するにあたって、試行期間は設けるのか。

答 松本病院事務局長

試行期間を設けずに、26年4月1日より移行したい。

問 患者さんや住民に対していい説明が必要だが周知の方法は。

答 松本病院事務局長

病院内での掲示や町の広報などで徹底したい。

プレミアム商品券の追加発行を

の追加発行を

問 4月からの消費増税の影響は町内にも及ぶが、町の経済対策として効果の大きい「プレミアム商品券」

を4月に追加発行してはどうか。

答 中田町長

県も「地域商品券」の事業を行う予定なので、それに合わせて実施できないか検討したい。

学童保育の充実を

「子ども・子育て会議」で対応（町長）

問 学童保育は、子どもたちにとって「生活の場」となっていて、重要な役割を果たしており、保護者にも大きな安心を与えている。

今後、指導員の人材確保や待遇改善、補助金の見直し、施設の充実などを図って行く必要がある。

町はどう取り組むのか。

答 中田町長

新しく設置した「子ども・子育て会議」で計画を立て、それに基づいて十分な対応をして行く。

その他の質問

○「道の駅」管理運営は



学童保育は楽しいな

川端雅夫議員



若者定住対策

「賃貸住宅」の入居基準は

施主と業者間で基準設定 (企画総務課長)

問 現在、沼江に建設中の「賃貸住宅」の入居基準と家賃補助は。
また、学校から遠い場所にあるので、スクールバスを運行しては。

答 伊丹企画総務課長
賃貸住宅の入居基準は、施主と業者間で決めるもので、まだ聞いていない。「家賃補助」の対象条件は4月1日現在、夫婦どちらかが45歳以下で、中学生以下の

子供がいることである。
答 中田町長
スクールバスの運行は考えていない。

問 町内で新築した場合にも、建築費の一部を補助してはどうか

答 中田町長
今は、「賃貸住宅」の補助制度を進めて行きたい。



建設の進む若者用賃貸住宅

鳥獣害対策

シルバー人材センターを活用しては

問 鳥獣被害は、大きな問題となっており、電気柵や防護ネット等の対策をしているが、被害は増すばかりで、猟友会も高齢化で人手も少ない。

県外ではシルバー人材センターを活用し、空砲などで鳥獣を追い払っているところもあるが、町も委託してはどうか。

答 中田町長
有効な手段であるかどうか検討したい。

答 野上産業交流課長

2月7日に「みかん活性化シンポジウム」を開催し、品評会や講演会、パネルディスカッションを行い、協賛としてJAよってネ市で「みかんフェスタ」を開催するなどブランド化を進めて行きたい。

団体間の審査などはしていないが、今後、「勝浦みかん生産販売促進協議会」で審査体制や販売の新規開拓を考えている。

貯蔵みかんブランド化

中身の統一

の「目ならし会」を開くなど審査し合うことも必要ではないか。

問 みかんのブランド化に向けて、ダンボール箱を統一してきしたが、中身の統一が課題である。今後は計画的に、出荷者同士

問 町長就任当初に「出前講座」をすると公約し、何回か開催していたが、今は全く開かれていない。町政を推進して行く上でどう認識しているのか。

答 中田町長
「出前講座」は3年くらいで終わったが、最近2地区から要望があり、「総合計画」の説明を兼ねて開催した。今後も対応して行きたい。

住民とのコミュニケーション

美しい・町のボランティア

シリーズ④

交通事故から児童を守れ！ 「見守り隊」

通学時に起きる、悲惨な交通事故から児童を守るため、20年から学校支援ボランティアの一環に「見守り隊」があります。

下校時に児童を引率して、安全を守っています。



横瀬
小学校区

リーダー
稲井いさおさん

メンバー紹介 (順不同・敬称略)

増井 公子	秋山 満代
中尾 茂斗子	廣瀬 芳枝
橋本 澄子	



生比奈
小学校区



リーダー
麻植賀千代さん

メンバー紹介

(順不同・敬称略)

谷 添 美津子
武 田 京子
中 山 貴子
森 脇 光子



表紙写真
保育園児による餅つき大会



編集後記

新春の第60回徳島駅伝大会は、5年に一度の勝浦コースで町民あがて歓迎し、レースを盛り上げた。町婦人会などが、あめ湯やぜんざいの接待をし、関係者を温かく迎えた。応援は、中央商店街に300mの横断幕や、町内沿道全体で旗を振り、声援に手をこらした。町議会も人形会館前で、「ちよぞっ娘」や恐竜の着ぐるみ、巨大恐竜、手作り旗で沿道を盛り上げた。前回より一段と熱気にあふれた。閉会式では大会長から「県下一の応援」と評価され、努力賞につながる一助となった。

小さな郡ながら、毎回全コース完走している勝浦魂に感謝します。

初代勝浦コースランナー(守)

